2022年度 慶應教養大学
教養研究センター主催
基盤研究　教養研究講演会 no. 6

西洋文明の源流としての旧約聖書
― 生きるための知恵を学ぶ ―

旧約聖書は西洋文明の源流であり、その知見は現在の西洋文明を決定づけています。この書について皆さんに語ります。

旧約聖書はイスラエルの民が長い歴史を経て編んだ古代文書です。その思想の豊穣な世界を一度の講義で紹介するのはとても無理ですので、旧約の知恵文学に焦点を当てます。

この知恵文学とは箴言、ヨブ記、コヘレト書に代表されます。古代イスラエルの知恵や叡智はこれらの書を土台にしています。これらを読むと、イスラエルの民がどう生き、どう生きて来たかが見えて来ます。またそこから、特徴的な楕円的思考が浮き彫りにされます。

この楕円的思考が旧約宗教の本質をうまく説明します。この旧約の知恵の思考から、現代への射程を考えます。

7月13日（水）16：30～18：30
場所：慶應義塾大学日吉キャンパス来往舎1階
シンポジウムスペース
対象：研究者、塾生・教職員・塾員
★入場無料・予約不要★

小友　聡（おともさとし）（東京神学大学教授）
1956年、青森県生まれ
専門領域　旧約聖書学、キリスト教学、倫理学
1980年：東北大学文学部哲学科卒業
1986年：東京神学大学大学院修士課程修了
1999年：ドイツ・ベーテル神学大学博士号取得
2007年：東京神学大学教授
現在、日本基督教団中村町教会牧師兼任
著書
『「コヘレトの言葉」を読もう』（日本キリスト教団出版局）『VTJ旧約聖書注解 コヘレト書』（同）、『それでも生きる』（NHK出版）、『謎解きの知恵文学』（ヨベル）、『すべてには時がある（若松英輔との対談）』（NHK出版）、『旧約聖書と教会』（教文館）など。

お問合せ：toiawase-lib@adst.keio.ac.jp